

平成 29 年度 第 2 回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：平成 30 年 1 月 30 日（火）午後 1 時 30 分～3 時

○場 所：幸田町役場 4 階 第 3 第 4 委員会室

○出席者：委員及びオブザーバーの計 16 人、町事務局等 7 人

○協議内容と主な意見等

「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における交付金事業に対する現時点での評価、並びに今後の取り組みについて、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●総合戦略の取り組み

- ・低温プラズマ、自動走行、豊坂ほっと館（多世代型児童館）の各種取組について、知らない住民もいるので、しっかりと P R をして欲しい。

●低温プラズマについて

- ・低温プラズマによる抗酸化イチゴ等の取組については、技術的な観点からも進捗状況を確認したい。

●自動走行について

- ・完全自動化については、まだ課題が多いと感じている。
- ・自動走行の導入により、まちがどのように良くなるか、暮らしにどう貢献していけるかを併せて考えていく必要がある。

●I T ・ I o T 農業について

- ・農業における生産性向上の観点からも、ドローンや自動走行技術の活用などを検討して欲しい。

●豊坂ほっと館（多世代型児童館）について

- ・今年の 4 月 1 日オープンだが、知らない人が多いので、しっかり周知をして欲しい。
- ・豊坂ほっと館は、単なる児童館ではなく、子育てをされている方の起業支援や地域の方々、高齢者の方のコミュニティの場でもあることから、ソフト施策の取組も重要であり、庁内の連携が不可欠である。

●I o T 推進ラボについて

- ・町内企業と愛知工科大学等との連携により、企業の生産性向上と学生の教育を同時に推進できる取組である。

●企業立地支援について

- ・中部経済産業局より紹介を受けた「設備投資に係わる新たな固定資産税特例」について、企業立地の支援策の一つとして活用したい。

これらの意見を踏まえ、引き続き各種事業・施策を推進していきます。

以上